

令和6年度 第2回 介護・医療連携推進会議 記録

- 事業所情報

| | |
|-----|-------------------|
| 法人名 | 社会福祉法人くらしのハーモニー |
| 事業所 | 24時間サポートくらしのハーモニー |

- 開催日時・場所

| | |
|----|-------------|
| 日時 | 令和7年3月21日付け |
| 場所 | 対面&Zoomにて開催 |

- 参加者(文書返信のあった事業所・担当者) (順不同)

| NO | 所属 (役職) | 氏名 |
|----|------------------------|---------|
| 1 | ラハイナ訪問看護ステーション | 水口氏 |
| 2 | 介護支援センターくらしのハーモニー | 中村氏 |
| 3 | 洛和ヴィラ桃山居宅 | 石岡氏 |
| 4 | 東宇治北地域包括支援センター | 宇野氏 |
| 5 | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 宇治徳洲会 | 池島氏 森山氏 |
| 6 | ハーモニー東風館 | 宮本氏 |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | | |

- 議事

| NO | 議事内容(文書にて送付した内容) |
|----|---------------------------------|
| 1 | サービス提供実施状況と事業の動向、今年度の振り返り |
| 2 | 事例紹介(個人情報保護の観点からホームページ掲載分からは削除) |
| 3 | 参加者からのご意見交換・ご要望 |
| 4 | 令和6年度地域密着型サービス外部評価 ※別紙資料参照 |

サービス実施状況(令和6年4月1日～令和7年2月29日)

【介護度別サービス利用状況】

| | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | |
|-------|----|----------|-----------|---------|---------|------|--------------|-----------|------|
| 利用実人数 | | | 34 | 34 | 32 | 31 | 32 | 28 | |
| 居住場所 | | 東風館 | 25 | 25 | 22 | 22 | 22 | 20 | |
| | | 自宅 | 9 | 9 | 10 | 9 | 10 | 8 | |
| (再掲) | 新規 | 新規利用者数 | 1 | | 2 | 2 | 2 | | |
| | | 相談 経路 | 暮らし 居宅 | 1 | | | | 1 | |
| | | | 他居宅 | | | 2 | 2 | 1 | |
| | 終了 | 終了者数 | | 3 | 4 | | 4 | 3 | |
| | | 終了理由 | | 逝去、他施設へ | 逝去、入院など | | 他施設へ、ADL向上など | 逝去、他施設へなど | |
| | | | | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 年間平均 |
| 利用実人数 | | | 27 | 30 | 33 | 37 | 36 | 32.8 | |
| 居住場所 | | 東風館 | 18 | 21 | 22 | 25 | 25 | 22.4 | |
| | | 自宅 | 9 | 9 | 11 | 12 | 11 | 9.7 | |
| (再掲) | 新規 | 新規利用者数 | 1 | 3 | 3 | 4 | 2 | | |
| | | 相談 経路 | 暮らし 居宅 | | 3 | 1 | 3 | 1 | |
| | | | 他居宅 | 1 | | 2 | 1 | 1 | |
| | 終了 | 終了者数 | | | | 2 | 1 | | |
| | | 終了理由 | | | | 他施設へ | 妻退院 | | |

| 介護度 | 人数 (内、東風館) | 定期訪問 計画回数 ※日平均 | その他サービス利用状況 | | | | |
|----------|---------------|----------------------|-------------|----------|--------------|----------------|-----------------|
| | | | 定巡 訪看 | 医療 訪看 | 障害 ホームヘルプ | 通所系サービス(内、こはた) | |
| | | | | | | 平均利用回数 | 居宅支援 事業所 |
| 要介護 1 | 18 (11) | 1.9 | 3 | 2 | | 6(1) 1.8 | 暮らし:11 他居宅:7 |
| 要介護 2 | 19 (11) | 3.5 | 7 | 1 | | 8(0) 1.6 | 暮らし:12 他居宅:7 |
| 要介護 3 | 13 (10) | 4.6 | 8 | 1 | 1 | 6(3) 2 | 暮らし:11 他居宅:2 |
| 要介護 4 | 5 (3) | 5.8 | 4 | 0 | | 3(2) 2 | 暮らし:3 他居宅:1 |
| 要介護 5 | 2 (0) | 3.5 | 0 | 1 | | | 暮らし:0 他居宅:2 |

【平均介護度詳細】

| | | | | | |
|---------|-----|----------|-----|-----|---------------|
| ①サ高住利用者 | 2.2 | ②地域居住利用者 | 2.7 | ③全体 | 2.3(前年度比-0.3) |
|---------|-----|----------|-----|-----|---------------|

【利用者詳細】

| | | | |
|-----------------|--|-------------|----------|
| 世帯状況 | 独居：30名 ※独居のうち、サ高住：22名 同居：27名 ※独居のうち、サ高住：13名 | | |
| 平均年齢 | 86歳(前年度比-1) | | |
| 男女比 | 男性：25名 女性：32名 | | |
| 主な疾患や症状 | パーキンソン病、糖尿病、心不全、腎不全、白内障・緑内障、前立腺肥大症、骨粗鬆症(転倒骨折)、K末期、廃用性症候群、幻覚性妄想障害、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、不安障害、痔核、脳腫瘍、多系統萎縮症、ALS、後天性難治性血友病、進行性核上性麻痺等 | | |
| 通所系サービス利用者数 | 24名 | 週あたりのデイ利用回数 | 1.8回(平均) |
| 1日3回以上の定期訪問利用者数 | 34名 | ショートステイ利用者 | 2名 |
| 主な利用ニーズ | <ul style="list-style-type: none"> ▼物忘れや生活行為遂行が不十分で、食事水分や内服、家事支援、安否確認等、生活全般の支援をして欲しい ▼パーキンソン病で適切な内服が必要だが飲み忘れがあり、内服支援をして欲しい ▼自宅(サ高住)で終末期を過ごすための厚いケア体制を整えたい ▼急激な心身状態の変化で生活が乱れており改善したい ▼転倒で起き上がれない、または転倒による骨折を繰り返しており、緊急時に対応してもらえる体制を整えたい ▼1日4回以上の点眼の介助をして欲しい ▼高齢な介護者の負担軽減のため、毎日移乗や排泄ケア等を提供欲しい ▼家族も高齢となり世話に通うのが大変なため、負担軽減したい ▼サ高住での新生活でどんな支援が継続的に必要かを見極めるため、生活状況のアセスメントをして欲しい ▼突然の退院指示で正確な情報が得られず、退院直後の不安定期を支えつつ、心身状況・生活状況のアセスメントをして欲しい ▼障害などのサービスを整えるまで支援をしてほしい | | |
| 主な定期訪問のサービス内容 | 起床就寝介助、排泄介助、陰部洗浄、更衣介助、移動・移乗介助、入浴介助、食事(弁当やレトルトなど)の温め、盛り付け、簡単な調理、配膳下膳、後片付け、洗濯、掃除、臨時の買い物、内服促しや確認、水分摂取促し、安否確認、戸締り、ごみ整理・ごみ出し、汚物処理、不安の傾聴、その他 | | |
| 緊急コール回数(月平均) | 15回(不定愁訴、誤報含む) ※サ高住のコール除く | | |
| 緊急コール・随時訪問の主な内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・自力でトイレに行けないので助けて欲しい ・支援時体調不良の様子あり、後に臨時で状況確認 ・点眼がうまく出来ないので介助して欲しい・「不安で | | |

| | | 動悸がして息苦しいので助けて欲しい」 ・「排泄を失敗してどうしたら良いか分からない」 ・「足腰が痛くて動けないので助けて欲しい」 ・「転倒してしまって動けないので助けて欲しい」 ・「ベッドから落ちて動けないので助けて欲しい」 ・声は聞こえるが内容が聞き取れず、状況確認(誤報) | |
|---------|---------|---|--------|
| 定期訪問回数 | 随時訪問回数 | 定期支援時間 | 随時支援時間 |
| 3.8 回/日 | 321 回/月 | 13.1 分/回 | 5 分/回 |

《今年度の振り返り》

今年度のサービス提供動向としては以下の通りです。

当事業所は令和7年1月からサービス提供8年目に入り、昨年度よりもご利用者は増え、今年度は年間を通して平均約32.8名(前年比+5.8名)のご利用者へサービスを提供することができました。

今年度は地域のケアマネジャー様からの相談も増え、ご利用者数が増加し、宇治市域でくらしの定巡が定着してきていると実感した1年となりました。

今年度の新規ご利用者の5割がサ高住のご利用者で、東風館、地域のご利用者ともに新規利用が多くあり、定巡を開設して初めて年間を通して30名を超えるご利用者の方にくらしの定巡を届けることが出来ました。しかし、上半期は他施設への引っ越しや体調変化による入院で終了される方が多く、ご利用者数の変動が大きかったです。

一方でサ高住以外の地域居住のご利用者の支援件数は昨年度よりもかなり増加し、今年度より新しく創設された夜間訪問型の定巡の利用も1名開始されました。夜間訪問型はくらしでは22時から翌朝6時と時間が限定されているのでまだまだ使いにくいサービスではあるものの、在宅生活を継続する為の一つの選択肢として通常の定巡と共に価値を発信していきたいと思えます。

今後、東風館を中心に重度のご利用者や看取りに対応する為、深夜帯の定期訪問ができるように人員体制を強化しました。徐々にではありますが、さまざまなニーズがあるご利用者もしっかりと支えて行けるよう努めて参ります。

今後とも、宜しくお願い致します。

《定巡サービスのご利用を通してのご意見・ご要望等について》

▼【実施状況】

定巡宇治徳洲会 池島様

30名の利用者も多く、また訪問回数の多さや、その対応が素晴らしいと感じた。

▼【事例紹介】

定巡宇治徳洲会 池島様

事例のようながん末のご利用者については、情報共有が重要だと思った。

ラハイナ訪問看護ステーション 水口様

今回の事例を聞いて、やはり多職種連携が必要だと感じた。また最終的に有料老人ホームを選択されたが、本人、家族、多職種が色々と考えての結果である為良かったのではないかと思う。定期巡回はご利用者に何かあればすぐに駆け付けてくれる為、とても助かっている。

定巡宇治徳洲会 森山様

事例について定期巡回の柔軟な性質が出ていて良かった。夜間訪問型のご利用者についても情報共有してほしい。

▼【意見交換】

ハーモニー東風館 宮本館長

定巡は本人の状態変化に合わせて、サービス内容を組み替える事ができる利点がある。

洛和ヴィラ桃山居宅 石岡様

昨年秋ごろからケアマネジャーとして働いている為、定期巡回について知ることができて良かった。対象者が現れた場合には検討していきたい。

東宇治北地域包括支援センター 宇野様

定期巡回については分からない状態であった為、知る機会となって良かった。柔軟に対応する事の出来る性質と、その難しさを感じた。

介護支援センターくらしのハーモニー 中村陽様

定期巡回が世の中になかなか増えない理由として、職員数の不足や介護報酬の足りない現状が伺える。なんとか経営を安定させる施策として、サ高住に併設させる方法がある。定期巡回では、各計責に支援の内容の検討を一部委託できる性質がある為、訪問介護ではケアマネジャーが担う部分を任せられる。その分ケアマネジャーが他に対応すべきところに時間を割くことが出来る為、その利点はご利用者へと返還される事になると思われる。